

マイマイ目（柄眼目）ナンバンマイマイ科

サイゴクビロウドマイマイ

Nipponochloritis occidentalis Azuma, 1982

【選定理由】

本種は東正雄氏が1982年県西部鹿足郡吉賀町安蔵寺山を基準標本産地として記載されたものである。きわめて稀産である。

【概要】

本種は原記載によると、殻はこの属としてはやや大きく殻径18.5mm、殻高13.7mm、4（4/5）層、殻は薄くもろく球状に近い暗褐色。殻皮上にはきわめて細かい毛状体の付属物がある。軟体部は黒い。分布は島根県安蔵寺山、枕木山、山口県、大分県、福岡県と記載されている。

島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：基準標本産地

環境省：情報不足（DD）

【県内での生息地域・生息環境】

県内産のビロウドマイマイについては、今後検討を要する。

【存続を脅かす原因】

森林伐採等生息地の乾燥。

マイマイ目（柄眼目）オナジマイマイ科

イワシミマイマイ

Euhadra senkenbergiana occidentalis Azuma, Takewaki et Okamura, 1987

【選定理由】

本種は1987年に県西部鹿足郡津和野町を基準標本産地としてクロイワマイマイ種群の亜種として報告されたが、アワマイマイ種群にも類似していることから、今後さらに検討を要する種である。

【概要】

殻は大型（殻径50mm）、重厚でツクシマイマイ模様を示す。殻口はゆるく曲がった斜位で円味ある三角形。唇縁は淡紫色厚く広く反転する。

島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：基準標本産地

環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【県内での生息地域・生息環境】

本種は津和野町上横道を基準標本産地として記載された当時は、県西部の山間部の限られた地域に分布するものと思われたが、その後山口県東部地区、広島県北西部からも記録された。

【存続を脅かす原因】

森林伐採等生息地の乾燥。